

2026年度第1回近畿支部講演会

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇話会

期日 2026年4月17日(金) 16.00~17.00

会場 大阪科学技術センター7階700号室〔大阪市西区鞆本町1-8-4, 電話:06-6443-5324, 交通:地下鉄四つ橋線「本町」駅下車, 北へ徒歩約7分。うつほ公園北詰〕

講演

海と私と分析化学(16.00~17.00)

(近畿大学理工学部) 中口 譲

参加費 無料

参加申込 標記記事名を題記し, (1)氏名, (2)勤務先(所属), (3)連絡先を記入のうえ, 下記申込先へFAXまたはE-mailにてお申し込みください。なお, 参加証は発行いたしませんので, 当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 (公社)日本分析化学会近畿支部〔電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail:mail@bunkin.org〕

※詳細は, 近畿支部ホームページ(<http://www.bunkin.org/>)にてご確認ください。

第418回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

後援 (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

HPLCを使用しているとピークの溶出が徐々に早くなる, ピーク面積の再現性が得られないなどのトラブルが発生することがあります。

トラブルを解消するためにはその原因の特定し, 適切な対処法を行います。またトラブルを未然に防ぐためには日常の点検やメンテナンスが必要です。

今回, トラブルシューティングとして, 前処理, カラムの周辺機器も含め, 問題を解決するための対処法について紹介させていただきます。

期日 2026年4月17日(金) 13.00~17.00

会場 (株)日立ハイテクアナリシス サイエンスソリューションラボ東京〔東京都中央区新富2-15-5 RBM築地ビル, 交通:東京メトロ有楽町線「新富町」駅より徒歩1分(5番出口利用), 東京メトロ日比谷線「築地」駅より徒歩4分(4番出口利用), JR京葉線, 東京メトロ日比谷線「八丁堀」駅より徒歩8分(A3出口利用)〕

<https://www.google.com/maps/search/?api=1&query=35.671216%2C139.775152>

講演主題 HPLC分析のトラブルシューティング

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00~13.05)

(株)日立ハイテクアナリシス 清水克敏
(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

1. HPLCトラブルを未然に防ぐ超純水装置のメンテナンス法と使い方のポイント(13.05~13.35)

(メルク株) 石井直恵
(LC分析士二段)

2. 溶離液, 試薬調製におけるトラブルシューティング(13.35~13.55)

(株)日立ハイテクアナリシス 清水克敏
(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

3. 前処理におけるトラブルシューティング(13.55~14.25)

(ジーエルサイエンス株) 太田茂徳
(LC分析士二段)

4. C18カラムにおけるトラブルシューティング(14.25~14.55)

((一財)化学物質評価研究機構) 坂牧 寛
(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)

休憩(14.55~15.10)

5. HPLCのハードウェアに関するトラブルシューティング(15.10~15.40)

(日本分光株) 佐藤泰世
(LC分析士二段)

6. アミノ酸分析計におけるトラブルシューティング(15.40~16.00)

(株)日立ハイテクアナリシス 宮野桃子
(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

7. LC-MSにおける日常分析の留意点と最新技術(16.00~16.30)

(株)島津製作所 服部考成
(LC/MS分析士初段)

8. 総括「HPLC分析のトラブルシューティング」(16.30~17.00)

(東京理科大学) 中村 洋
(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 ①学生:1,000円, ②LC懇・個人会員:2,000円, ③LC懇・団体会員:3,000円, ④後援学会・個人会員:4,000円, ⑤後援学会・団体会員:4,500円, ⑥その他:5,000円(領収書の発行は, 送金月日にかかわらず2026年4月19日以降となります。請求書は発行しません)。

参加申込締切後の受付はできませんので, ご了承ください。なお, 日本薬学会会員として申込みされる方は, 後援学会欄に日本薬学会が表示されていることをご確認のうえお申し込みください。まだ表示されていない場合は, 表示されるまでお待ちください。

情報交換会 終了後, 講師を囲んで情報交換会を開催します(会費5,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので, 参加希望者は必ず事前にお申し込みください。

参加申込および参加費等納入締切日 2026年4月9日(木)
(入金締切時刻:15時まで)

申込方法

1. 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先(電話番号), LC会員・協賛学会会員・その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ, お申し込みください。なお, 参加者名と振込者名が違う場合は, 参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。

2. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス欄に「第418回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は, ①入力したご自分のアドレスに間違いがないか, ②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ, 世話人までお問い合わせください。

3. 申込み受付のメールを受領後, 必ず期限内に研究懇談会参加費, 情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合, お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので, 十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお, いったん納入された参加費は, 返金いたしません。

4. 参加費の納入が確認できた方には, 2026年4月10日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお, 請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費, 情報交換会費を送金される場合, 下記を禁止し

ておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/hAVkCEzWPEqvgYip6>

(学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341、口座名義：シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 (株)日立ハイテクアナリシス 清水克敏 [E-mail: katsutoshi.shimizu.wp@hitachi-hightech.com]

第 32 回化学安全講習会

主催 (公社)日本化学会近畿支部

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか

期日 2026年5月7日(木)・8日(金)

会場 大阪科学技術センター7階700号室(7日)、大ホール(8日)

プログラム

第1日(10.00~16.00)

1. 化学物質の発火・爆発危険性について
(グリーン・パイロラント) 松永猛裕
2. 化学防護手袋の選定および評価について
(日本触媒) 右田雄作
3. 化学プラントにおけるリスクアセスメントの現状と課題
(京業人材育成会) 中村昌允
4. 高圧ガス事故例、ヒューマンエラーの実体験とその防止と重大災害を防ぐために
(兵庫県高圧ガス保安協会派遣講師) 紙田章義

第2日(10.00~16.30)

5. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理
(阪大安全衛生管理部) 山本 仁
6. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント
(阪大安全衛生管理部) 山本 仁
7. 実験で解説する静電気による火災・爆発を防止するための安全対策
(SL 経営) 蒲池正之介

参加費・申込方法 詳細は<https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen26.html>をご参照ください。

申込締切 4月16日(木)

問合せ先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 日本化学会近畿支部 [電話: 06-6441-5531, E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp]

セミナー「化学プロセスへの適用を見据えたフロー合成、マイクロデバイスの開発最前線」

主催 (公社)化学工学会関西支部

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部

期日 2026年5月22日(金) 13.00~17.30

開催形式

[対面式] 大阪科学技術センター7階700号室〔大阪市西区鞠本町1-8-4〕

[オンライン式] Zoomによるライブ配信

プログラム

1. 開会の挨拶・趣旨説明(13.00~13.05)
2. 講演会
 - 1) マイクロリアクターの開発とマイクロ化学工学の基礎研究—マイクロ反応器システムの開発と反応設計・操作論—(13.05~13.45)
(京大院工) 牧 泰輔
 - 2) フロー合成法の工業的生産に向けた開発事例(13.45~14.25)
(富士フィルム) 嘉藤彰史
 - 3) フロー合成装置の現状と事例紹介(14.25~15.05)
(DFC) 松本一希
 - 4) 回して細胞を見てみよう：単一細胞の非染色分析を可能とするマイクロデバイス(15.20~16.00)
(兵庫県大院理) 鈴木雅登
 - 5) 定量ポリメラーゼ連鎖反応(qPCR)法のマイクロ流路を用いた高速化と臨床検査への応用(16.00~16.40)
(産総研) 永井秀典
 - 6) マイクロ流路内で製造する機能性材料(16.40~17.20)
(岡山大院自然科学) 小野 努
3. 閉会の挨拶(17.20~17.30)

申込締切 5月15日(金)、ただし、会場の定員(50名)になり次第、オンラインでのご案内になります。

参加費 主催・協賛団体個人正会員19,000円、主催・協賛団体法人会員所属23,000円、大学・公的機関7,000円、学生会員3,000円、会員外学生5,000円、会員外37,000円(テキスト代・消費税込、現地参加もオンラインも同額)

申込方法 Web上の参加申込フォーム<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=49791>よりお申込みください。

参加費は、銀行振込[りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.0405228, 名義:公益社団法人化学工学会関西支部]をご利用ください(振込手数料は申込者にてご負担ください)。※5月15日以降のキャンセルは参加費等を申し受けますので、ご了承ください。

問合せ・申込先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (公社)化学工学会関西支部 [電話: 06-6441-5531, E-mail: apply@kansai-scej.org, <https://www.kansai-scej.org/topics/7003>]

セミナー「化学工学におけるMI/PIとDX：プロセスと材料の革新に向けて」

主催 (公社)化学工学会関西支部

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部

期日 2026年6月5日(金) 13.00~18.30

会場 大阪科学技術センター8階小ホール〔大阪市西区鞠本町1-8-4〕

プログラム

1. 産業のためのMI/PI~化学工学的エッセンスも織り交せて~(13.00~13.50)
(住友電工) 高桑達哉
2. 生成AI時代の材料設計(13.55~14.45)
(ダイキン工業) 茂本 勇
3. 計算やMIと現場課題を結びつける手段としてのDX(15.00~15.50)
(QunaSys) 高椋章太
4. 生成モデル・生成AIを活用した無機材料開発(15.55~16.45)
(奈良先端大院先端科学) 藤井幹也
5. 交流会(希望者のみ)於:8階小ホール(17.00~18.30)

申込締切 5月27日(水)、ただし、定員(70名)を超える

申込みがあった場合に限り、オンライン参加をご案内することがあります。

参加費 主催・協賛団体個人正会員 19,000 円、主催・協賛団体所属法人会員 23,000 円、大学・公設機関 7,000 円、学生会員 3,000 円、会員外 37,000 円、会員外学生 5,000 円（テキスト代、消費税込み）

申込方法 Web 上の参加申込フォーム

<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=60932> よりお申込みください。

参加費は、銀行振込 [りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.0405228, 名義: 公益社団法人化学工学会関西支部] をご利用ください (振込手数料はご負担ください)。

問合せ・申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 (公社)化学工学会関西支部 [電話: 06-6441-5531, E-mail: apply@kansai-scej.org, <https://www.kansai-scej.org/topics/7156>]

先端技術を支える単位操作シリーズ 晶析技術の基礎と最新動向—講演&展示会—

主催 (公社)化学工学会関西支部

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部

期日 2026 年 6 月 12 日 (金) 9.30~18.00

会場 大阪科学技術センター 8 階中・小ホール [大阪市西区靱本町 1-8-4]

プログラム

開会挨拶 (9.30~9.40)

1. 工業晶析の最近の動向と今後の展望 (結晶の純度に関して) (9.40~10.30)

(兵庫県大院工) 前田光治

2. 結晶粒子群に特性を作り込むための晶析操作設計 (10.30~11.20)

(東農工大院工) 滝山博志

3. 展示企業からのショートプレゼンテーション (11.20~12.00)

4. ポスターセッションおよび展示会 (12.00~13.30)

カッタギ工業(株), (株)サクラ, シーメンス(株), (株)旭製作所 /CFDLab 共同出展, 冷化工業(株), (株)チップトン, メトラー・トレド(株)

5. 振動流バツフル晶析装置による連続晶析プロセスの強化 (13.30~14.20)

(阪公大院工) 堀江孝史

6. 超音波連続晶析技術の開発と実装に向けた取り組み (14.20~15.10)

(カネカ) 町田康士

7. 微細粒度制御に向けた種晶循環晶析システムの構築 (15.20~16.10)

(シオノギファーマ) 遠山貴之

8. 展示企業からのショートプレゼンテーション (16.15~16.45)

9. 情報交換交流会 (ミキサー) 兼ポスターセッションおよび展示会 (16.45~18.00)

申込締切 6 月 5 日 (金) ただし、定員 (80 名) になり次第締め切り

参加費 主催・協賛団体個人正会員 20,000 円、主催・協賛団体所属法人会員 24,000 円、大学・公設機関 8,000 円、学生会員 3,000 円、会員外学生 5,000 円、会員外 38,000 円 (テキスト代・消費税込)

申込方法 Web 上の参加申込フォーム

(<https://www.kansai-scej.org/form/view.php?id=57488>) よりお申込みください。

参加費は、銀行振込 [りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.0405228, 名義: 公益社団法人化学工学会関西支部] をご利用ください (振込手数料はご負担ください)。

・参加申込者には 6 月上旬に E-mail にて会場案内図等を送付します。

問合せ・申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 (公社)化学工学会関西支部 [電話: 06-6441-5531, E-mail: apply@kansai-scej.org, <https://www.kansai-scej.org/topics/6996>]

2026 年度「ぶんせき講習会」(基礎編その 2)

「化学分析の基礎講座～実験用ガラス器具、マイクロピペット、電子天びん、および pH メーターの原理と使い方～」

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部、近畿分析技術研究懇話会

協賛 (公社)化学工学会関西支部、(一社)近畿化学協会、(公社)日本化学会近畿支部、(公社)有機合成化学協会関西支部、(公社)高分子学会関西支部、(一社)日本鉄鋼協会関西支部、(公社)日本金属学会関西支部関西分析研究会

化学分析のみならず、合成・物性測定など化学実験や培養などのバイオ実験を行ううえで、試薬の秤量や調合は実験の質を左右する重要なファクターになります。最近では機器のデジタル表示やパソコンの普及により、これらの操作における測定値は容易に得られるようになりましたが、正しい値や信頼性のある値を得るためには、実験器具の適切な使い方や、機器の正しい校正法や操作方法を理解・修得することが必要です。そこで、本講習会では、主に初心者 (研究室配属直後の学生や新入社員) や基礎から学びなおしたい人を対象に、化学実験の基礎となる秤量・調合・溶液調製をより適切に行えるための講義と実習を企画しました。ピペット・メスフラスコなどの実験用ガラス器具、マイクロピペット、電子天びんおよび pH メーターの基本操作を原理も含めて習得できます。

期日 2026 年 7 月 2 日 (木) 9.50~16.50 (受付 9.30~)

会場 (株)島津製作所関西支社 [大阪市北区梅田 1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 24 階, 電話: 06-4797-7200, 交通: 阪急「大阪梅田」駅より徒歩 7 分, 阪神「大阪梅田」駅より徒歩 1 分, 大阪メトロ御堂筋線「梅田」駅より徒歩 1 分, 大阪メトロ四つ橋線「西梅田」駅より徒歩 3 分, 大阪メトロ谷町線「東梅田」駅より徒歩 2 分, JR「大阪」駅より徒歩 3 分, JR「北新地」駅より徒歩 4 分]

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/kansai.html>

講習内容 実験用基本器具、マイクロピペット、電子天びん、および pH メーターの原理と使い方

対象者 学生や新入社員および基礎から学びなおしたい方

講習プログラム

0. はじめに (9.50~10.00)

(堀場アドバンスドテクノ) 西尾友志

1. 講義「実験用基本器具の原理と取扱い方」(10.00~10.30)

(神戸大院海事) 堀田弘樹
・ガラス製体積計 (測容器) の取扱い～受用, 出用各器具の取扱い～

・標準溶液の調製

2. 「マイクロピペットの取扱い方と管理方法 (実習付き)」(10.40~11.40)

(エー・アンド・デイ) 羽生 智

・マイクロピペットの規格、構造、選択、基本的な操作方

- 法、維持管理
- ・精度よく分注するために～揮発性のある液体、粘性のある液体の分注方法～
 - ・電動ピペット操作方法～通常分注と連続分注～
3. 「電子天びんの原理と取扱い方（実習付き）」（13.00～14.50）
（島津製作所）本田弘毅
- ・電子天びんの据付、感度調整
 - ・天びんの環境や測定目的に応じた使い方
 - ・天びんの点検方法
 - ・応用測定
 - ・天びんの取扱い
4. 「pHメーターの原理と取扱い方（実習付き）」（15.00～16.50）
（堀場アドバンスドテクノ）桑本恵子
- ・pHとは
 - ・pHを測るには
 - ・電極のメンテナンス方法
 - ・サンプルに適したpH電極の選び方

*参加者には事前に電子メールにてPDF資料を送付します。
*当日はテキストの配布は行いませんので、各自でPDFを印刷しての持参、あるいはタブレット等での準備をお願いします。

*主催者側で昼食を用意します。

参加費 主催・協賛団体所属会員 7,000円、学生 4,000円、会員外 11,000円

申込締切 2026年6月25日（木）

定員 20名。お申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。6月26日以降のキャンセルは不可。

申込方法 参加を希望される方は、近畿支部HP (<http://www.bunkin.org/>) から本講習会のページに入ってください。【参加申込フォーム】にてWebからお申し込みください。

*お申込み後、自動返信メールが届きましたら、開催日までに参加費のお支払いをお願いいたします。参加費は銀行口座（りそな銀行御堂筋支店、普通預金、No.2340726、名義：公益社団法人日本分析化学会近畿支部）にお振り込みください。

*参加証と会場案内図・テキストダウンロード情報などをメールにて送付します。当日、この参加証を持参して下さい。

*コロナウイルス、インフルエンザなどの感染状況により延期または中止する可能性があります。変更などの詳細は、近畿支部HPにてご確認ください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階（公社）日本分析化学会近畿支部〔電話：06-6441-5531、FAX：06-6443-6685、E-mail：mail@bunkin.org、近畿支部HP：<http://www.bunkin.org/>〕

問合せ先 西尾友志（堀場アドバンスドテクノ）〔E-mail：yuji.nishio@horiba.com〕

LC研究懇談会第31回特別講演会・見学会

主催（公社）日本分析化学会 LC研究懇談会

後援（公社）日本化学会、（公社）日本薬学会（申請中）、（公社）日本農芸化学会、（公社）日本分析化学会、LCシニアクラブ

期日 2026年7月10日（金）

会場（一財）化学物質評価研究機構（CERI）東京事業所〔埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野1600、交通：①東武日光線「杉戸高野台」駅下車徒歩約15分、②東武スカイツリーライン・伊勢崎線「和戸」駅下車徒歩約20分〕

<https://www.cerij.or.jp/outline/tokyo.html>

スケジュール

- 13.00～13.30 受付
13.30～13.35 LC研究懇談会・委員長挨拶
（東京理科大学）中村 洋
13.35～13.50 CERI東京事業所の紹介
（CERI専務理事・東京事業所長）四角目和田
13.50～14.50 見学会（社内施設見学）
14.50～15.50 講演1「ムーンショット型研究開発プロジェクト—海洋生分解性プラスチックの評価法の開発—」
（CERI高分子技術部）菊地貴子
15.50～16.10 休憩・記念撮影
16.10～17.00 講演2「高精度脂肪酸分析に向けた基盤技術の検討—EPA代謝物及びフラン脂肪酸の分取精製と構造解析—」
（CERIクロマト技術部）緒方伸也
17.30～19.30 情報交流会
19.35 解散

参加費 5,000円（税込み10%）。

定員 20名（なお、競合会社、同業者の方のご参加をお断りすることがございますので、ご了承ください。定員になり次第、締め切らせていただきます）。

参加方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、メールアドレス、勤務先、電話番号、などを明記のうえ、お申込みください。参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス宛に「LC研究懇談会第31回特別講演会・見学会申込み受付（自動返信）」のメールが届きます。メールが届かない場合は、問合せ先までご連絡ください。
- 申込受付メールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合、参加申込みを無効としますので、十分ご注意ください。いったん納入された参加費は、返金いたしません。なお、請求書の発行はいたしておりません。

申込期限 2026年6月26日（金）（入金締切時刻：15時）

申込先 <https://forms.gle/t9R1SSwEww389zV7>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）0802349、口座名義：シヤ）ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合せ先（公社）日本分析化学会・LC研究懇談会〔E-mail：nakamura@jsac.or.jp〕

第31講研究開発リーダー実務講座2026 —企業の将来を担う理想の 研究開発リーダー像とは？—

主催（一社）近畿化学協会

協賛（公社）日本分析化学会近畿支部

期日 第1回：7月10日（金）、第2回：8月6日（木）、第3回：9月4日（金）、第4回：10月7日（水）、第5回：11月6日（金）、第6回：12月9日（水）、各回13.00～18.30

会場 大阪科学技術センター〔大阪市西区鞠本町1-8-4〕
プログラム（各回終了後、グループディスカッション、ビジネス交流会を開催。【 】内はキーワード）

第1回：7月10日（金）

【リスク管理・リーダーシップ】

プロジェクトリーダーに求められる新たな判断規範

—リーダーが最初に背負う責任とは—

（アルプス薬品/ケルセジェン・ファーマ）小野光則

第2回：8月6日（木）

【マネジメント・リーダーシップ・コミュニケーション/新規事業・アントレプレナーシップ・産学連携】

1. 産学連携によるイノベーションの創出
(名古屋市大院経済) 坂井貴行
2. 人とのチームの可能性を開くコーチ型リーダーシップ
(コーチ・エイ) 栗本 渉

第3回：9月4日（金）

【イノベーション・リーダーシップ・DX/マネジメント・イノベーション・人材育成】

1. ゆとりを創り、研究開発の生産性を飛躍的に向上させ、イノベーションを加速する全体最適のマネジメント理論
TOC
(ゴールドラット・ジャパン) 岸良裕司
2. 移りゆく世界とテクノロジー
(JST) 永野智己

第4回：10月7日（水）

【マネジメント・AI・DX/イノベーション・AI】

1. AIを活用しながら成果をあげよう
(MOT コンサルティング・デジタル技術経営研究所) 神庭 基
2. 化学企業の研究開発におけるデジタルトランスフォーメーション
(三井化学) 岩壁幸市

第5回：11月6日（金）

【ビジョン・マネジメント・コミュニケーション/新規事業・人脈形成・人財活用】

1. やりきることの強さ
(十全化学) 廣田大輔
2. グローバル目線の人脈形成と新規事業への人財活用
(北海道大名誉/ウェストコーナー) 西田まゆみ

第6回：12月9日（水）

【新規事業・ベンチャー企業・イノベーション】

1. イノベーションプロセスの概要 40年間の企業生活で学んだ事
(三井化学) 表 利彦

参加費 主催団体所属会員 88,000円, 協賛団体所属会員 110,000円, 会員外 132,000円 (原則同一参加者の6回通し受講のみ, 消費税込)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階 (一社)近畿化学協会「研究開発リーダー実務講座」係 [電話: 06-6441-5531, E-mail: seminar@kinka.or.jp]

詳細はホームページ <https://kinka.or.jp/event/2026/31leader.html> をご参照ください。

みとし、これに先立って2分の口頭による概要説明を行います (概要説明の時間は都合により変更する場合があります)。このほかに特別講演を予定しています。優秀なポスターへの表彰を予定しております。

期日 2026年11月5日(木)・6日(金)

会場 ウィンクあいち [愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38, 交通: JR「名古屋」駅桜通口徒歩5分]

<https://www.winc-aichi.jp/>

研究発表会申込方法

1. 発表内容には既発表のものを含んでいても構いません。また、新しい試みであれば、研究途中のものでも差し支えありません。
2. 高分子分析研究懇談会ホームページからお申し込みください。ホームページからの申し込みができない場合には、下記に問い合わせてください。
3. 講演要旨執筆要領はホームページに掲載します。
4. ポスター発表のプログラム編成は実行委員会に一任願います。

発表申込締切 (予定) 7月10日(金)

発表要旨締切 (予定) 9月4日(金)

研究発表申込先 高分子分析研究懇談会ホームページ (<https://pacd.jp/>)

その他 発表者は第31回高分子分析討論会の参加登録もお願いいたします。

参加費

事前登録 (9月30日締切) 一般: 10,000円, 学生: 2,000円
通常登録 (10月1日以降) 一般: 14,000円, 学生: 3,000円
(事前登録の締切日については、都合により変更する場合があります)

問合せ先 第31回高分子分析討論会実行委員長 (株)豊田中央研究所 加藤雄一 [E-mail: pacd-touron@pacd.jp]

第31回高分子分析討論会 (高分子の分析及びキャラクターゼーション) —研究発表募集—

主催 (公社)日本分析化学会高分子分析研究懇談会

高分子分析・特性解析全般に関する討論です。高分子分析は物性発現機構を解明し、構造設計の指針を得る基盤であり、その重要な認識は高まっています。高分子分析・キャラクターゼーションを対象とした本討論会の内容は、化学的手法、分光学的手法、各種クロマトグラフ法、熱分析法などによる組成、分子構造、高次構造、構造と物性の相関、物性発現機構、重合機構等の解析に関する基本原理、手法開発、解析実例などに及びます。

発表形式討論を重視するため、発表はすべてポスター発表の

—以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第259・260回西山記念技術講座

カーボンニュートラル社会を実現する高機能鉄鋼材料
～磁性材料開発の最前線～

主催 (一社)日本鉄鋼協会

期日 第259回:2026年5月25日(月)(東京/対面開催),
第260回:2026年6月15日(月)(大阪/ハイブリッド開催)

会場 第259回:早稲田大学西早稲田キャンパス63号館,第
260回:CIVI研修センター新大阪

ホームページ

<https://www.isij.or.jp/event/index.html>

連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ

〔電話:03-3669-5933, E-mail:educact@isij.or.jp〕

日本膜学会第48年会

主催 日本膜学会

期日 2026年6月1日(月)・2日(火)

会場 東京都立多摩産業交流センター

ホームページ

https://www.maku-jp.org/conference/article/_peS9VNA

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-26-5 扇屋ビル

702 日本膜学会事務局 渡部恭吉〔電話:03-3815-2818,
E-mail:membrane@mua.biglobe.ne.jp〕

第76回日本電気泳動学会シンポジウム

病態解析の新しい視点

—基礎研究と検査が拓く臨床への展開—

主催 日本電気泳動学会

期日 2026年6月13日(土)

会場 群馬パース大学 1号館8階 Paz Hall

ホームページ

<https://www.jes1950.jp/>

連絡先 〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1 群馬パ
ース大学 1号館8階 Paz Hall 第76回日本電気泳動学会シ
ンポジウム事務局 世話人 木村鮎子, 片山将一

〔電話:027-365-3366, E-mail:76th-jes-sympo@jes1950.jp〕

第77回白石記念講座

鉄鋼業への貢献が期待されるCCUS技術(2)

—CO₂の地層貯留技術・固定技術の最前線—

主催 (一社)日本鉄鋼協会

期日 2026年6月18日(木)

会場 鉄鋼会館会議室

ホームページ

<https://www.isij.or.jp/event/index.html>

連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ〔電話:03-3669
-5933, E-mail:educact@isij.or.jp〕

第36回環境工学総合シンポジウム2026

主催 (一社)日本機械学会

期日 2026年7月29日(水)~31日(金)

会場 工学院大学

ホームページ

<https://www.jsme.or.jp/env/symp/sympo-info2026/index.shtml>

連絡先 (一社)日本機械学会 総合企画グループ 事務局 大
谷〔電話:03-4335-7615, E-mail:env-event@jsme.or.jp〕

「分析化学」年間特集“波”論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より年間特集を企画し、2026年の
テーマを「波」と決定しました。

「波」は光の波長と波数を想起させることから、分光分析の
基礎および応用についての論文を募集します。例えば以下のよ
うな研究について募集を行います。

1) 将来的に分析化学に応用される可能性をもった分光測定
法の開発。2) 分光分析による構造解析, 定量, 微量検出, 化
学種同定。3) 表面分光・顕微分光による局所測定とイメージ
ング。4) 分光法と類似の情報が得られる中性子や超音波を用
いた測定。5) 多変量解析や理論計算による分光測定結果から
の情報の抽出。

一方で、「波」は直接、海や川の表面に起こる波を連想させ
ます。本特集においては、海洋や河川の表層または岸辺を対象
とした環境分析についても論文を募集します。

本特集に関わる論文は年間を通じてご投稿いただくことが可
能で、審査を通過した論文は、単行の特集号を除く「分析化
学」第75巻(2026年)合併号の冒頭に掲載する予定です。多
くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機
会をご活用ください。詳細はホームページをご確認ください。
特集論文原稿締切:2026年4月24日(金) (第3期)

「分析化学」特集

“未来を拓く熱分析”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、熱分析研究懇談会と共同で「未
来を拓く熱分析」と題した特集を企画しました。熱分析は、
“物質の温度を調節されたプログラムに従って変化させながら、
その物質の物理的性質を温度(または時間)の関数として測定
する一連の技法の総称です。適用範囲は、プラスチック、ゴ
ム、セラミックス、金属、鉱物といった材料分野から、食品、
製薬などの製品分野、生体・環境・エネルギー分野と多岐にわ
たり、およそあらゆる物質を対象としています。対象も手法も
日々進化しています。本特集号では、広く熱分析が力を発揮し
た研究論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿くださ
い。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切:2026年2月20日(金)

特集論文原稿締切:2026年4月17日(金)